

大田区自然観察路「池のみち」の
生物・植物についての区民協働調査

実施報告書

2018年3月

一般社団法人

地域パートナーシップ支援センター

〈 報告内容 〉

1. 調査実施概要

1. 1 調査名称

1. 2 調査目的

1. 3 調査地域

1. 4 調査項目

1. 5 調査期間

1. 6 調査方法

1. 7 調査員

1. 8 写真撮影

1. 9 報告書作成者

2. 調査結果

2. 1 「池のみち」と調査コースについて

2. 2 調査コース概要

2. 3 本調査 植物・樹木調査

2. 4 本調査 生物調査 <野鳥>

2. 5 本調査 生物調査

<昆虫、哺乳類、爬虫類、両生類、魚類、その他>

2. 6 協働調査 <区民参加による調査普及活動>

1. 調査実施概要

1. 1 調査名称

大田区自然観察路「池のみち」の生物・植物についての区民協働調査

1. 2 調査目的

自然観察路「池のみち」は元々、東急池上線洗足池駅前の洗足池とその周囲を周回する散策路が自然観察路として指定されたコースである。この調査報告書は、自然観察路を中心とした生物相の状況を把握し、区民等が自然観察を行う際の資料として提供するだけでなく、今後区民と協働して行う自然環境及び環境保全施策の基礎として利用できるようにする。

なお、今回の調査にあたって新たに整備された小池公園を加え、新しい「池のみち」自然観察路づくりのための調査も行った。

また、調査にあたって区民から参加者を募集する協働調査（観察会）も実施し、区民の環境への関心を高め、生物多様性の理解促進を図った。

1. 3 調査地域

大田区自然観察路「池のみち」（洗足池および大田区立洗足池公園）の指定部分、大田区立小池公園



1. 4 調査項目

- (1) 植物（樹木、草本）
- (2) 鳥類
- (3) その他（昆虫類、哺乳類、爬虫類、両生類、魚類、陸産貝類など）

1. 5 調査期間

2017年4月6日～2018年3月16日

この期間内に本調査および区民参加による協働調査（観察会）を実施

1. 6 調査方法

本調査

調査地域内で確認された個体について数、種類を記録する。ただし、識別不能な個体については可能な範囲で記録をとる。

確認した生物、植物および調査場所の環境をデジタルカメラで写真撮影し記録する。

協働調査

調査内容、方法について検討し、参加する区民に対して調査方法、識別方法の説明を行い、本調査に準じた区民参加の調査を行う。

1. 7 調査員

専門調査員

川沢祥三、大塚 豊（野鳥）
山辺功二、鈴木百合子（樹木、植物）
小野紀之（総括）

区民参加調査員

7月 9日 区民31名
1月14日 区民26名

1. 8 写真撮影

大塚 豊、鈴木百合子、山辺功二、小野紀之

1. 9 報告書作成者

小野紀之、山辺功二

2. 調查結果

2. 2 調査コース概要

今回の調査では、「池のみち」を2つの池を中心とするエリアに分けた。

洗足池

洗足池は溜池のかんがい水源として、また近郊の景勝地として江戸時代から有名であった。昭和初期に周辺一帯の宅地化の進行にともなってかんがい用水としての役割を終え、東京府の風致地区に指定され、公園として維持管理されるようになった。

洗足池公園の総面積は約8万平方メートルで池の面積は4万1千平方メートル（周囲1200メートル）である。池の水源は清水窪の湧水のほか、周辺の地下水を集めたものである。洗足池北側には斜面にコナラ群落、上部平地にソメイヨシノ群落のある高台とクロマツ群落のある高台の公園がある。



小池公園

小池公園は洗足池と同様、従来は溜池として、そして釣り堀として利用されてきた。2009年には周辺を含めて整備され、周囲を一周歩ける水辺公園になった。

公園全体の面積は約1万1千平方メートル、うち池面積は6千平方メートル（周囲350メートル）ほどである。池の水源は周囲からの湧水である。



2. 3 本調査 植物・樹木調査

今回の調査では「池のみち」を、「洗足池」「小池公園」エリアに分け、それぞれに生育する植物・樹木について調査集計を行った。

大田区自然観察路「池のみち」の代表的な樹木



メタセコイア（洗足池 左：4月、右：12月）



ハンノキ（洗足池）



クロマツ（洗足池）



ソメイヨシノ（洗足池）



イヌシデ（洗足池）



ウバメガシ (洗足池)



コナラ (洗足池)



アオダモ (小池公園)



オニグルミ (小池公園)



イヌビワ (小池公園)



ミツバカエデ (小池公園)



シマトネリコ (小池公園)



ボケ (小池公園)



ヒラギモクセイ (小池公園)



コウゾ (小池公園)

大田区自然観察路「池のみち」の代表的な草本類



ヤマツツジ (洗足池)



スイレン (洗足池)



コウホネ (洗足池)



フトイ (洗足池)



キシヨウブ (洗足池)



アジサイ (洗足池)



ヘビイチゴ (洗足池)



ガマ (洗足池)



ハンゲシヨウ (洗足池)



カリガネソウ (洗足池)



ヨメナ (小池公園)



オオカナダモ (小池公園)



チガヤ (小池公園)



ミソハギ (小池公園)

2017年度「池のみち」植物調査 種名表

＜樹木類＞ 1/2

科目	種名	洗足池公園				小池公園			
		4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月
アオイ	フヨウ		花	花			花	花	
	ムクゲ		花						
アオギリ	アオギリ								
アカネ	クチナシ		花				花		
イイギリ	イイギリ								
イチイ	イチイ								
	カヤ								
イチヨウ	イチヨウ								
イヌガヤ	イヌガヤ								
ウコギ	キツタ								
	ヤツデ								
ウツギ	ハコネウツギ								
ウルシ	ヌルデ								
エゴノキ	エゴノキ								
オトギリソウ	ビヨウヤナギ	花	花			花	花		
カエデ	イロハモミジ								
	オオモミジ								
	トウカエデ								
カキノキ	カキノキ		実						
カツラ	カツラ								
カバノキ	イヌシデ								
	ハンノキ								
クスノキ	クスノキ								
	シロダモ								
	タブノキ								
グミ	アキグミ								
	オニグルミ			実				実	
クワ	イヌビワ							実	
	ヤマグワ			実				実	
シソ	クサギ								
	ムラサキシキブ								
シナノキ スイカズラ	ボダイジュ								
	サンゴジュ								
	スイカズラ								
	ニシキウツギ								
	ハナゾノツクバネウツギ		花	花		花	花		
スギ	メタセコイア								
センリョウ	センリョウ			実	実			実	
ツゲ	ツゲ								
ツツジ	アセビ								
	オオムラサキ	花				花			
	サツキ	花				花			
	セイヨウシャクナゲ								
	ドウダンツツジ								
	ヒラドツツジ	花				花			
ヤマツツジ	花								
ツバキ	サカキ								
	サザンカ				花				
	チャノキ								
	ヒサカキ								
	モッコク		花						
	ヤブツバキ				花				
トウダイグサ	アカメガシワ								
	ナンキンハゼ								
トベラ	トベラ	花				花			
ニガキ	ニガキ								
ニシキギ	ニシキギ								
	マユミ								
ニレ	エノキ								
	ケヤキ								
	ムクノキ								
バラ	ウメ								
	オオシマザクラ								
	クサイチゴ	花							
	コデマリ	花				花			
	シダレザクラ								
	シャリンバイ								
	ソメイヨシノ								
	ノイバラ								
	ビワ								
	ボケ				花				花
	モモ								
	ヤマブキ	花				花			
	ユキヤナギ	花				花			

<樹木類> 2/2

科目	種名	洗足池公園				小池公園			
		4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月
ヒノキ	サワラ								
	チャボヒバ								
	ヒノキ								
ブドウ	ツタ								
	ノブドウ								
ブナ	アカガシ								
	ウバメガシ				実				
	クヌギ				実				
	コナラ				実				
	シラカシ				実				実
	スダジイ				実				
マテバシイ				実					
マキ	イヌマキ								
マツ	アカマツ								
	クロマツ								
	モミ								
マツブサ	サネカズラ								
マメ	エンジュ								
	フジ		花				花		実
	ネムノキ						花		
ミズキ	アオキ								
	ハナミズキ								
	ミズキ								
	ヤマボウシ								
ミカン	ナツダイダイ				実			実	
メギ	ナンテン		花		実				
	ヒイラギナンテン		花				花		
モクセイ	アオダモ								
	キンモクセイ				花				
	シマトネリコ								
	トウネズミモチ		花		実		花		実
	ヒイラギモクセイ								
	ネズミモチ								
モクレン	コブシ								
モチノキ	イヌツゲ								
	クロガネモチ								
	ソヨゴ								
	モチノキ								
ヤシ	シュロ								
ヤナギ	イヌコリヤナギ								
	カワヤナギ								
	シダレヤナギ								
	タチヤナギ								
	ボブラ								
ヤマモモ	ヤマモモ								
ヤブコウジ	マンリョウ								
ユキノシタ	アジサイ			花			花		
	ガクアジサイ			花					
	タマアジサイ			花					
確認された種数		52科 119種				28科 51種			

2017年度「池のみち」植物調査 種名表

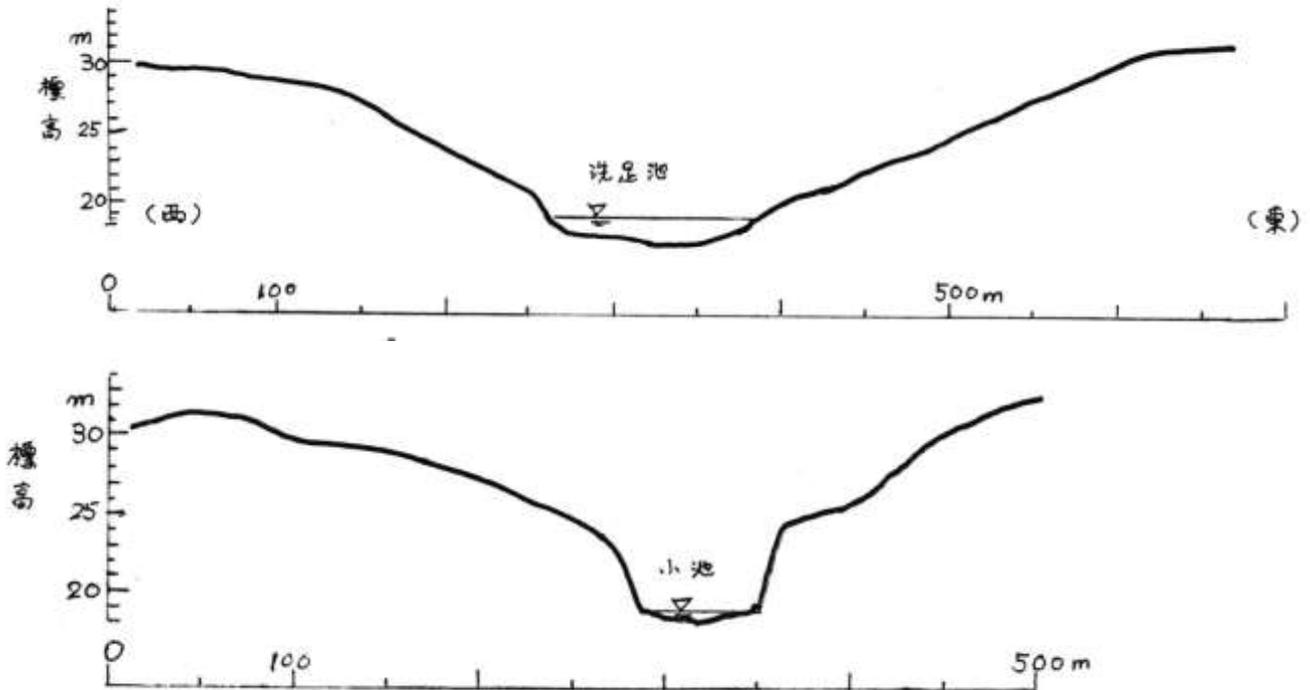
＜草本類＞ 1/2

科名	種名	洗足池公園				小池公園			
		4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月
アオイ	アオイ		花				花		
アカネ	ヤイトバナ			花				花	
アカバナ	メマツヨイグサ		花				花		
	ユウゲシヨウ					花	花		
アブラナ	ナズナ	花				花			
	ハナダイコン	花				花			
アヤメ	アヤメ								
	カキツバタ		花				花		
	キシヨウブ		花						
	シャガ	花				花			
	ヒメオウギズイセン								
イグサ	イ								
	クサイ								
イネ	アズマネザサ								
	イネ			穂					
	イヌムギ								
	エノコログサ		穂	穂			穂	穂	
	オカメザサ								
	オギ			穂				穂	
	オヒシバ			穂				穂	
	カモジグサ								
	カラスムギ								
	ギョウギシバ								
	クマザサ								
	シバ								
	ススキ			穂				穂	
	スズメノカタビラ								
	ツルヨシ								
	ヒエガエリ								
	メヒシバ			穂				穂	
モウソウチク									
ヨシ			穂				穂		
イノモトソウ	イノモトソウ								
	オオバインモトソウ								
ウリ	カラスウリ			実					
オオバコ	オオバコ								
オンダ	ベニシダ								
	ヤブソテツ								
オシロイバナ	オシロイバナ		花	花					
カタバミ	アカカタバミ	花							
	オツタチカタバミ	花				花			
	カタバミ	花	花			花			
	ムラサキカタバミ	花				花			
ガマ	ガマ		花				花		
	ヒメガマ		花						
カヤツソグサ	カサスゲ								
	サンカクイ								
	チャガツリ								
	フトイ		花				花		
キク	アメリカセンダングサ		花	花			花	花	
	オオジシバリ								
	オニタラビコ	花				花			
	カントウタンポポ	花							
	セイタカアワダチソウ			花				花	
	セイヨウタンポポ	花				花			
	ダンドロボロギク								
	ツワブキ			花	花			花	花
	ノゲシ	花				花			
	ハキダメギク		花	花			花		
	ハハコグサ	花				花			
ハルジオン	花				花				

<草本類> 2/2

科名	種名	洗足池公園				小池公園			
		4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月
キク	ヒメジオン		花				花		
	ヒメムカシヨモギ								
	フキ								
	ヨメナ			花				花	
	ヨモギ								
クワ	カナムグラ			花					
キンボウゲ	キツネノボタン	花							
ケン	タケニグサ								
	ナガミヒナゲシ	花				花			
ゴマノハエグサ	オオイヌノフグリ	花				花			
	トキワハゼ								
サトイモ	セキショウ								
シソ	ホトケノザ	花							
スイレン	コウホネ	花							
	ヒツジグサ		花						
スマレ	タチツボスミレ								
セリ	セリ	花							
	ノチドメ								
タデ	イタドリ								
	イヌタデ		花	花			花	花	
	ギシギシ								
	ミスヒキ			花					
ツユクサ	ツユクサ		花	花			花	花	
	ヤブミヨウガ								
トウダイグサ	エノキグサ								
トクサ	スギナ								
ドクダミ	ドクダミ	花				花			
	ハンゲショウ								
トチカガミ	オオカナダモ								
ナス	タマサンゴ		花				実		
ナデシコ	ウシハコベ	花							
	オランダミミナグサ	花				花			
バラ	ヘビイチゴ		実				実		
ヒメシダ	ホシダ								
	ミドリヒメワラビ								
ヒユ	ヒナタイノコズチ								
ヒルガオ	コヒルガオ		花				花		
	ヒルガオ		花						
フサシダ	カニクサ								
ブドウ	ヤブガラシ		花				花		
マメ	カラスノエンドウ	花				花			
	クズ								
	シロツメグサ	花				花			
	ヤマハギ			花					
ミズアオイ	ホテイアオイ								
ミズワラビ	ホウライシダ								
ミソハギ	ミソハギ		花				花		
ヤマゴボウ	ヨウシュヤマゴボウ		花						
ヤマノイモ	オニドコロ								
	ヤマノイモ								
ユリ	ジャノヒゲ								
	トウギボウシ								
	ノシラン								
	ノビル								
	ハラン								
ラン	ヤブカンゾウ		花			花			
リンドウ	アサザ	花							
確認された種数		48科 113種				37科 81種			

洗足池、小池の地形は、荏原台と呼ばれる標高30メートル強の洪積台地が流水によって侵食された谷底である。したがって、周囲はスリバチ状の崖線に囲まれており、斜面には樹林が多く、宅地化の進んだ現在においても素晴らしい景観である。



1. 洗足池公園

洗足池公園で確認された植物は、年間で樹木類が52科、119種、草本類が48科、113種である。

洗足池公園の植生は、公園の北側にある斜面ではコナラ、クヌギ、ムクノキ、エゴノキなどの落葉樹が自生し、古くからソメイヨシノが植えられ古木になっている。また、松山と呼ばれる一帯にはその名の通りクロマツの大木がまとまって見られる。

公園の東側にはクロマツ、ソメイヨシノが多く見られ、緑の多い広場になっている。水生植物園の横には、内陸では珍しいハンノキが植えられている。池の西側や南側では通路沿いにスダジイやシダレヤナギなどの大木が見られる。公園全体にツツジ、アジサイなどの多くの園芸種が植栽されているのも特徴の一つである。

草本類は、林床に（特に北側）アズマネザサが覆っており、刈り取りが行われていて単調である。広場や通路の脇には、ドクダミ、ヨモギ、ハルジオン、ヒメジオン、カタバミ、ノゲシなどのいわゆる雑草類が見られる。

一方、洗足池公園の特徴である水辺植物は、池の北側から東側にかけてヒメガマ、ガマ、フトイ、ヨシなどが、また、ハンゲショウ、セキショウ、ホウライシダ、ヤブソテツなどの湿地性植物が多く見られる。水生植物園にはキショウブ、アヤメのほか、スイレン科のコウホネ、ヒツジグサが見られ、一部アサザも植えられている。このように水生植物が数多く見られる貴重な水辺となっている。

洗足池公園



洗足池公園 植生図



2. 小池公園

小池公園で確認された植物は、年間で樹木類が28科、51種、草本類が37科、81種である。小池公園は、以前には長い間釣り堀として利用されていたが、大幅に改修され、2009年に公園となった。したがって、園内の樹木のほとんどは植栽によるもので自生のものは、ほぼみられない。

公園は池の周囲を広場や通路で囲んだ形であり、そこにはカツラ、フジ、ハナゾノツクバネウツギ、ヒイラギナンテン、ビヨウヤナギなどの園芸種が多くみられる。草本類は、東側の草地にフキ、オオバコ、ヨモギ、ヒメジオン、ハルジオン、セイタカアワダチソウ、ギンギン、シロツメグサ、エノコログサなどが多くみられる。また、夏季にはミソハギやヤブカンゾウの花が美しい。

一方、池の西側は石垣になっており、水辺植物として、石の隙間にヤブソテツ、イノモトソウがみられるとともに、シマトネリコやアカメガシワが成長している。池の東側は、水生植物が繁茂できるように工夫されており、ガマ、コガマ、サンカクイのほかヨシの群落が成長している。また、池の中にはオオカナダモが広く繁茂している。



小池公園



小池公園 植生図



2. 4 本調査 生物調査 <野鳥>

専門家2名による5月、8月、11月、2月の4回の調査時に観察された野鳥の記録をまとめた。

大田区自然観察路「池のみち」で観察された野鳥



アオサギ



カイツブリ



オオバン



バン



カワセミ



マガモ



ツミ



アオジ



キジバト



コゲラ



シジュウカラ



シロハラ



ハイイロオウチュウ



メジロ



カルガモ



オナガガモ



カワウ



コサギ



ユリカモメ



ムクドリ



ツグミ



ハシブトガラス

2017年度「池のみち」鳥類調査 確認された種名表

確認された野鳥			5月(4月)調査		7月調査		10月調査		1月調査		年間調査結果	
			洗足池	小池公園	洗足池	小池公園	洗足池	小池公園	洗足池	小池公園	洗足池	小池公園
カイツブリ目	カイツブリ科	カイツブリ						1	5			
ペリカン目	ウ科	カワウ	2		1				2	1		
コウノトリ目	サギ科	アオサギ		1		1	1		1			
		コサギ						1				
		ゴイサギ							1			
タカ目	タカ科	ツミ	1			4(親子)			1			
	ハヤブサ科	チョウゲンボウ		1								
カモ目	カモ科	コガモ		(4月)			2	17				
		マガモ						2				
		カルガモ	6	17(2家族)	31	4	22	1	26			
		オナガガモ					11		16			
		キンクロハジロ	2		2		2		51			
ツル目	クイナ科	バン		1		4(幼のみ)						
		オオバン							4	3		
チドリ目	カモメ科	ユリカモメ							19	1		
		コアジサシ	1									
ハト目	ハト科	キジバト	4	2	5	4	3	1	4			
ブッポウソウ目	カワセミ科	カワセミ					1		1			
キツツキ目	キツツキ科	コゲラ	2		1				3	1		
スズメ目	ツバメ科	ツバメ	1	5	6	3						
		セキレイ科	ハクセキレイ					3	1		1	
	ヒヨドリ科	ヒヨドリ	14	5	12	5	34	15	18	2		
		モズ科	モズ					1	1			
	ヒタキ科ツグミ亜科	ジョウビタキ								1		
		シロハラ							1			
		ツグミ							1	2		
	ヒタキ科ウグイス亜科	ウグイス							1			
	エナガ科	エナガ							14			
	シジュウカラ科	シジュウカラ	10(黒糖ヒナ)	2	10(幼)		6	3	11	2		
	メジロ科	メジロ	4	3	4	3	5	1	16	3		
	ホオジロ科	アオジ								2		
	ハタオリドリ科	スズメ	21	13	17(幼)	30	5	14	4	50		
	ムクドリ科	ムクドリ	15	7	15		2	7	15	12		
	オウチュウ科	ハイロオウチュウ						1				
カラス科	オナガ	15				8		5				
	ハシボソガラス	1	2		2	2	1	4	2			
	ハシトガラス	6	3	12	1	12	2	13	8			
その他	ドバト	31	6	24	3	41	3	55	5			
	アヒル	2		2		2		1				
	ホンセイインコ	4				7		5	2			
確認された種数			19	14(15)	14(16)	12	20(24)	16(18)	29(30)	17(19)	34(35)	29(30)

：鳥類調査員以外によって確認されたもの

今回の調査で「池のみち」では、総計12目25科37種（+外来3種）の鳥類が確認された。

1. 洗足池公園

洗足池とそれを囲む園路・樹林・神社・史跡などがある。洗足池公園では11目22科31種（+外来3種）の鳥類が記録されているが、そのうち13種が水辺環境に生息するいわゆる水鳥類であった。しかし、約4.1ヘクタールの広い水域の割には水鳥類の種類数と個体数がさほど多いとは言えない。池の縁がほとんど人工的な切り立った形状で、なだらかな岸辺や浅瀬がないことと、園路などの施設が池に近接していて、水鳥類が安心して休息できないためと思われる。また、池の北側の水生植物園以外は水辺の植生がなく、水鳥類の餌となる動植物が乏しいことも一因であろう。一方、樹林や草地に生息する陸鳥類もさほど多くはない。大木はかなり生えているものの、鳥類の隠れ場所や採餌場所となる灌木や下草が少ないためと思われる。

なお、小形猛禽のツミが5月にケヤキの大木に営巣し、7月に無事に巣立ったヒナ数羽が観察された。都会の公園でこのような猛禽の繁殖は大変喜ばしいことである。

北側の弁財天から水生植物園の辺りにはかなり人慣れしたカワセミがいて、その美しい姿と行動で多くの来園者の人気を集めている。

2. 小池公園

名前どおりの小さな池とそれを囲む園路・わずかな樹林・草地などがある。小池公園では9目20科25種（+外来1種）の鳥類が観察されていて、それらのうち水鳥類は9種であった。観察された鳥類は洗足池より若干少なめではあるが、おおむね類似した傾向を示していると言えよう。

小池の東側が親水の岸辺やヨシ原になっているのは、洗足池と異なる点である。5月から7月にかけてこの付近でバンやカルガモの繁殖が見られている。親子連れの水鳥は一般の来園者でも容易に観察でき、微笑ましく心が和む観察対象である。

秋季調査の10月には渡り途中のハイロオウチュウ1羽を記録した。本種は東南アジアなどに生息する種であり、稀に沖縄など南日本へ渡来するが、東京都では3例目の記録となる極めて稀な迷鳥である。記録上は貴重なものではあるが、偶発的に渡来した本種が再び渡来する可能性は低く、一般の観察対象にはなり得ない。

2. 5 本調査 生物調査 <その他>

今回の調査は、区民が身近に感じ、観察できる生き物を主な対象として行った。確認された生き物として昆虫類、爬虫類、両生類、魚類、貝類がいた。

これらの種類の生き物の調査にあたっては、特に保護柵の中に入ったり、植物をかき分けて地表近くを探したり、網を使って水中を探るなどの方法はとらず、調査コースを歩きながら観察された生き物を記録した。

大田区自然観察路「池のみち」で観察された昆虫



アオスジアゲハ



ナミアゲハ



ベニシジミ



イチモンジセセリ



ウチワヤンマ



オオシオカラトンボ



アオモンイトトンボ



ショウジョウトンボ



コシアキトンボ



コノシメトンボ



コバネイナゴ



アメンボ

大田自然観察路「池のみち」で観察された爬虫類



ニホンカナヘビ



ニホントカゲ



アオダイショウ



ニホンスッポン



ミシシippアカミミガメ



クサガメ

大田区自然観察路「池のみち」で観察された両生類



ヒキガエル (オタマジャクシ)

大田区自然観察路「池のみち」で観察された貝類



カワニナ

大田区自然観察路「池のみち」で観察された魚類



コイ



メダカ



ブルーギル

今回の「池のみち」調査では、昆虫類60種、爬虫類7種、両生類2種、貝類1種、魚類6種が記録された。

洗足池の昆虫類その他ではトンボ類やチョウ類が比較的良く見られ、春季から秋季にかけての観察対象に適していると考えられる。

小池公園の魚類では絶滅危惧種のメダカが比較的多く観察されている。さらに特筆すべきは、爬虫類のニホンスッポンの巨大個体（約50cm）の生息が確認されたことである。昆虫類ではやはりトンボ類が際だっていた。

補足情報 <哺乳類>

今回の調査で哺乳類の確認はできなかったが、初夏から秋ごろの夕方、夜間に、洗足池や周辺地域の上空を飛行するアブラコウモリが観察されている。

2. 6 協働調査 <区民参加による調査普及活動>

2000年に実施された区民参加による「身近な生き物調査」がベースになっている区民協働調査は、身近に生息する生き物を、身近に観察（調査）することを目的にしている。これまでに身近な生き物を対象にしたセミのぬけがら調査（2011年）、コオロギ調査（2013年）が行われている。2014年からは、大田区自然観察路を対象にした自然豊かな地域について植物・樹木、野鳥をメインにした生き物協働調査を行っている（2014年「縄文のみち」、2015年「海と埋立地のみち」、2016年「雑木林のみち」）。

協働調査の特徴として、専門家による調査に加えて、一般区民の参加による調査を観察会の形で実施している。今回は7月9日（日）と1月14日（日）に洗足池で実施した。

第1回 区民協働調査観察会

日 時：2017年7月9日（日）10：00～12：00

天 候：晴

場 所：洗足池図書館多目的室および洗足池

講 師：鈴木百合子（多摩川とびはぜ倶楽部）

参加者：一般募集による区民、親子 31名（大人18名、子ども13名）

実施状況：

洗足池図書館に集合。調査員でもある鈴木講師から洗足池周辺の樹木、植物の説明のあと、全員で野外へ。大人から子どもまでが気軽に楽しく学べる観察会で好評だった。また、区民協働調査や大田区自然観察路についての解説も行った。

これまでも洗足池公園では自然観察会を冬に水鳥の観察を中心に実施されていたが、今回のように夏に水辺の観察会を行ったのは初めての試みだった。





第2回 区民協働調査観察会

日 時：2018年1月14日（日）10：00～12：00

天 候：晴

場 所：洗足池図書館多目的室および洗足池

講 師：小野紀之（地域パートナーシップ支援センター）

参加者：一般募集による区民、親子 26名（大人19名、子ども7名）

実施状況：

夏の植物観察に対して、冬は水辺の野鳥、特に冬鳥のカモ類、カモメ類の観察を行った。冬は、インフルエンザの流行時期とも重なるため、申込みに対して、当日欠席者がいるのは避けられない現状がある。それでも、これまで定期的に行われてきた自然観察会の実績があり、高齢者に加えて、親子の参加も増えている。継続して参加する区民が確実に増えているのは喜ばしいことである。観察終了後、室内でまとめを行った。そして、秋に拾っておいたどんぐりとストラップづくりの材料を配り、手作りのどんぐりストラップをお土産として持ち帰ってもらった。



大田区自然観察路「池のみち」の生物・植物についての区民協働調査
実施報告書

発行 2018年3月

一般社団法人 地域パートナーシップ支援センター

東京都大田区矢口1-21-6
